

# 子ども医療費助成 現行制度を後退させず、中学3年までの年齢拡大を！

## 子育て世代に「負担増」を求める制度の見直しは認められません

今回の3月議会に提案された子ども医療費助成制度の再検討案は、入院を中3まで無料、通院は小4～中3で医療費月1200円、薬代1200円の負担とするものの、同じく3歳から小学校3年生までの通院は自己負担を月額500円から700円に引き上げ、薬代も月700円の負担を新たに取るというものです。

医療費は1診療科、薬代も1薬局当たり各700円の負担が必要となるため、3歳から小3まで子どもたちは3倍もの負担となります。中学3年生までの助成拡充と言いながら、実際には拡充分の財源を3歳から小3までの子どもたちの負担増によってねん出するというものです。

## 先進自治体になって、自己負担をなくし「完全無料化」に実現を！

人口127万人のさいたま市では51.5億円、人口220万人の名古屋市では106億円の予算を使い、中学

3年生までの完全無料化（自己負担なし）を実施しています。熊本市の事業費は19億円です。

## 経済的理由で、「病院に行けない」子どもをつくらない

医療機関や大学の調査では、貧困世帯は、受診の控えが4.3倍、インフルエンザワクチンの未接種が3.4倍、ぜんそくやそれによる入院が2倍と報告されています。

家庭の経済事情で医療が受けられない状況をつくらないためにも、先進政令市にならい、熊本市でも、自己負担をなくし、完全無料化をすすめていくべきです。

【3月議会の主な賛否】 (○：賛成、×：反対)

	共産	自民	連合	公明	未来	創生	市政	教育	自由	善進	創世	和
2017年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
市民会館の民間管理	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共謀罪撤回の意見書	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
熊本地震・特措法制定を求める意見書	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
オスプレイの飛行禁止・配備撤回の意見書	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○

\*一般会計当初予算は、住まいや生活の再建など、多くの課題がある熊本地震の復興をすすめる必要がある中、大企業へ400億円以上もの支援をする再開発事業を最優先の予算となっていることから、反対しました。

【控室から】  
自然の力  
上野 みえこ

暖かくなったかと思えば、寒くなって、なかなか「ト」が脱げません。心待ちにしてる「わくら」の開花も遅れています。

でも、猫の額のような我が家の庭には、春の花々が所狭しと咲き出しています。クリスマスローズ、水仙、レンギョウ、ボケ、ヒマラヤワカガミ、スノードロップ、パンジー、日向みずき、ハイモ、椿などです。サクランボの花は、すでに花びらを散らしています。

熊本地震から、やがて1年を迎えようとしています。住まいや生活等の再建、本格的な復興はこれからです。予想もなかった地震からの復旧、いろいろなことがありました。

こんなことがあっても、季節が巡ってくれば、当たり前のように芽を出し、花を咲かせ、草や木の力強さは、私たちに勇気を与えてくれるでしょう。

これから元気に、熊本地震の復興はじめ、市政の課題に取り組みたいと思います。

みなさんも是非、足元の花を愛で、桜が咲いたらお花見も楽しみましょう！

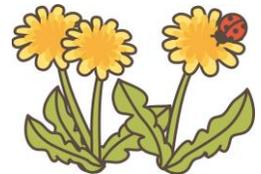


日本共産党 市議会だより  
発行：日本共産党熊本市議団  
上野みえこ なすまどか やまべひろし

NO. 1041  
2017年4月2日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホーム：共産党熊本市議団 検索

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟



## 3月議会が閉会 当初予算や共謀罪法案の撤回を求める意見書に討論

3月24日、3月議会が閉会しました。最終日には、来年度の一般会計予算について上野議員が反対討論を行ったほか、リサイクル情報プラザの廃止条例について存続を求

める立場からなすまどか市議が質疑、共謀罪法案の撤回を求める意見書にやまべひろし議員が賛成討論を行いました。主な議案に対する賛否は以下の通りです。

## 討論 MICEや花畑ひろば整備の一方で、住民サービス削減は許されない

当初予算については、小学校へのエアコン設置やスクールカウンセラーの拡充など評価できるものもあります。

一方、大西市長提案の子ども医療費助成制度は、3歳から小3までの親の負担が約3倍となるものです。討論では問題点を指摘し、さいたま市や名古屋市のように中学3年ま

で完全無料とするよう求めました。

また、一部損壊世帯への支援が不十分であるとともに、敬老祝賀経費の削減、嘱託職員の勤務時間や人数の削減など行う一方で、MICE整備やシンボルプロムナード・花畑ひろばの整備など大規模な投資を行う予算の問題点を指摘しました。

## 討論 国民の内心を取りしめる「共謀罪法案」の撤回を！

安倍政権は、国民の批判が日に日に高まっている「共謀罪」を「テロ等準備罪」に名称を変えるなどして閣議決定しました。

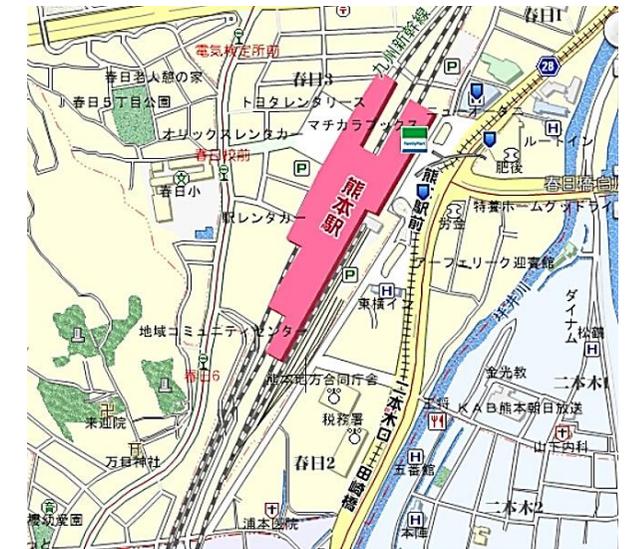
やまべひろし議員は、共謀罪法案の撤回を求める意見書について賛成討論を行い、①日本国憲法19条で保障する、思想・良心の自由を侵害すること、②取り締まる

対象もあいまいで、判断は、捜査機関に委ねられることになり、労働組合や市民団体でも対象にされかねないこと、③日本は、すでにテロ防止のための57の重大犯罪について、未遂より前の段階で処罰できる国内法も整備されており立法事実がないことを指摘。違憲立法の共謀罪法案の撤回を求めました。

## 都市計画審議会

## JR駅ビル構想を受け 熊本市駅周辺の用途変更が提案

3月27日、熊本市都市計画審議会が開催され、熊本駅周辺の用途変更（「準工業」→「商業」「近隣商業」へ変更）や大規模集客施設制限の規制除外などが提案されました。変更される区域は右図の通りです。



## JR駅ビルは延床面積11万㎡の大型集客施設 下通り・上通りや新市街など中心市街地への影響調査を！

JR九州が計画している駅ビルは、延べ床面積が約11万㎡の14階建てで、同社の駅ビルとして博多駅に次ぐ規模となります。1階から7階は商業施設、その上階はホテルやシネマコンプレックスなどが入る予定です。大規模な集客施設となります。

熊本市が、中心市街地のまちづくりのベースとしてきた2核3モール（鶴屋と

県民百貨店の核とそれを結ぶ下通り・上通り・新市街)にも、大きな影響を与えることは間違いありません。

審議会において、なすまどか市議は「JRの駅ビルが、中心市街地へどのような影響をあたえるか調査・分析もしていない状況で、用途変更をすべきではない」と指摘しました。